

## 令和5年度 病虫害発生予察情報(美濃地域) 7月予報

### 【 水稲 】

#### いもち病 (葉いもち)

BLASTAM (アメダスデータを用いたいもち病感染好適条件の判定システム) によると、6月上中旬以降、中濃地域の一部を除く全域で感染好適日が確認されています (表1参照)。感染好適日に病原菌が感染すると、おおよそ5~10日後に発病が認められます。また、一部地域では補植用の置き苗で発生が確認されたため、今後のほ場での発生状況に十分注意してください。

#### 斑点米カメムシ類

岐阜・西濃及び中濃地域に設置した予察灯では、カスミカメムシ類の誘殺が平年より多くなっており、畦畔イネ科雑草での発生も認められています。水稲の出穂直前および出穂後の畦畔の除草は、本虫を水田内に追い込む恐れがあるため出穂10日前までに実施し、出穂期~穂揃期の間使用する薬剤に合わせた適期防除を徹底してください。

### 【 野菜 】

#### トマト 灰色かび病

東濃地域の一部では、平年よりも早く発生が確認されています。降雨や曇天が続くと、葉先枯れや花ガラ、ガク枯れなどの枯死部から本病は発生し、ハウス内に蔓延します。これらの部位をこまめに除去してください。また、薬剤散布する場合は、耐性菌の出現を抑えるため、同一系統薬剤の連用は避けてください。

○主な病虫害の発生時期及び防除時期 (7月)

	病虫害名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項	
			1 旬	2 旬	3 旬	4 旬	5 旬	6 旬		
水稲	生育(コシヒカリ)	早	幼穂形成期						・6/16 調査 (5/11 田植: 農業技術センター)	
	葉いもち	やや多				＜発生最盛期＞		・ <b>葉いもち</b> : 箱施薬を実施していないほ場では発生初期に本田防除を実施する。		
	紋枯病	並	＜初発生＞						・ <b>紋枯病</b> : 前年度に多発したほ場では、初発生を確認したら薬剤防除を実施する。	
	縞葉枯病	少				＜発生最盛期＞		・ <b>縞葉枯病</b> : 感受性品種では特に注意する。		
	ヒメトビウンカ	多	＜第2世代幼虫＞		＜第2世代成虫＞			・ <b>斑点米カメムシ類</b> : 主にカスミカメムシ類に対する防除は、出穂~穂揃期およびその7~10日後の2回実施する。イ初ムシに対する防除は不稔被害防止のため、一般的な斑点米カメムシ類と異なり防除時期が早くなるため注意する。		
	セジロウンカ	並				＜第1世代幼虫＞				
	斑点米カメムシ類	並					＜本田侵入時期＞			
	防除適期		斑点米カメムシ類: 出穂~穂揃期、およびその7~10日後に防除を実施する。							
かき	生育(ハツシモ)	並						・田植 6/9 (農業技術センター)		
	ハマキムシ類	やや多	＜第2世代幼虫＞						・幼虫発生初期の防除を徹底する。	
防除適期		▲ハマキムシ類								
なし	黒星病	やや多~多						・幸水では、果実肥大期の7月上中旬頃に最も感受性が高まるため注意する。		
	防除適期		~ ▲黒星病							
果樹	カメムシ類	やや多	＜越冬世代・新世代成虫＞						・夜間の温度や湿度が高い場合は、突発的にほ場へ飛来するため注意する。	
	防除適期									
茶	生育(やぶきた: 池田)	早								
	岐阜 西濃	ハマキムシ類	やや多	＜第2世代幼虫＞						・ハマキムシ類: 発蛾最盛期から7~10日後の防除を徹底する。
		チャノホソガ	並	＜第2世代成虫＞						・チャノホソガ: 発蛾最盛期と萌芽~展葉期が合致すると被害が発生するため、発蛾最盛期から10日後に防除を実施する。
	防除適期		▲ハマキムシ類      チャノホソガ ▲							

	病害虫名 (防除適期)	生育状況 発生量	発生時期及び防除適期						防除上の注意事項
			1 旬	2 旬	3 旬	4 旬	5 旬	6 旬	
野菜 ・ 花き	灰色かび病	並				<発生最盛期>			・同一系統薬剤の連用は避ける（薬剤耐性および抵抗性の発達を避けるため）。 ・ <u>灰色かび病</u> : 葉先枯れ、花ガラ、ガク枯れ等の枯死部位は発生源となるため取り除く。 ・ <u>ハスモンヨトウ</u> : 発生初期の防除に努める。 ・ <u>ハバコガ</u> 類: 若齢幼虫の防除を徹底する。
	アザミウマ類	並							
	ハスモンヨトウ	やや多							
	タバコガ類	並							
	ハダニ類	並							
防除適期			～ ▲灰色かび病						

注1) ▲、▲～▲：防除適期  
 注2) 美濃地域は岐阜、西濃、中濃および東濃地域  
 注3) 用語の定義及び基準については「発生予察事業の調査実施基準」に準ずる

### いもち病（葉いもち）

BLASTAM（アメダスデータを用いたいもち病感染好適条件の判定システム）によると、6月中旬以降、感染好適日が確認されています（表1参照）。感染好適日が連続すると、おおよそ5～10日後に病徴が確認され始めますので、ほ場での発生状況に十分注意して、適期防除を実施してください。

表1 2023年6月 BLASTAMによるいもち病の発病条件 病害虫防除所

日付	岐阜	大垣	愛西 海津	関ヶ 原	揖斐 川	樽見 根尾	美濃	八幡	長滝 白鳥	美濃 加茂	黒川 白川	多治 見	中津 川	恵那
6/7	●	◎	◎	—	●	◎	◎	◎	○	◎	—	◎	◎	◎
6/8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/9	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	◎	△
6/10	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/11	●	●	●	●	●	△	●	△	△	●	—	—	—	◎
6/12	●	●	●	●	—	—	●	—	△	—	—	—	—	—
6/13	◎	—	●	●	—	—	—	△	—	●	—	●	●	●
6/14	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	●	—
6/15	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—
6/16	—	—	—	—	◎	—	—	◎	◎	—	—	◎	—	—
6/17	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/18	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/19	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/20	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/21	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/22	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/23	—	—	—	—	—	◎	—	◎	—	●	●	◎	◎	◎
6/24	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/25	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/26	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
6/27	—	—	—	—	—	●	—	—	—	—	—	—	—	—
6/28	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—



いもち病の病斑（左）とずりこみ症状（右）  
 （令和4年 東濃地域）

凡例

- △：準好適条件（湿潤時間10時間以上だが、前5日間の平均気温は20℃未満）
- ▲：準好適条件（湿潤時間10時間以上だが、前5日間の平均気温は25℃以上）
- ：準好適条件（湿潤時間10時間以上だが、湿潤時間の平均気温は15～25℃の範囲外）
- ◎：準好適条件（湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとの必要な時間より短い）
- ：好適条件（湿潤時間中の平均気温が15℃～25℃であり、湿潤時間が湿潤時間中の平均気温ごとに必要な時間を満たし、当日を含めてその日以前5日間の日平均気温の日平均気温の平均値が20～25℃の範囲にある）
- ：好適条件、準好適条件は満たされなかった。

空欄：欠測値があるため判定不可能

### 6月～8月は「農薬危害防止期間」です。

農薬の適正な使用、保管管理に努め、農薬を散布する場合は、周辺に栽培されている作物のみでなく、住宅地等を含めて飛散が無いよう、十分に配慮してください。

### 東海地方1か月予報（名古屋地方气象台6月29日発表）

向こう1か月の気温は平年並か高く、暖かい空気に覆われやすい傾向にあります。降水量は平年並か多く、期間の前半は梅雨前線の影響を受けやすく、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

岐阜県病害虫防除所では、この他に病害虫の詳細な調査データをホームページにて公開しています。

<https://www.pref.gifu.lg.jp/soshiki/24321/>

〒501-1152 岐阜市又丸729-1 TEL (058) 239-3161 FAX (058) 234-0767



岐阜県病害虫防除所  
 トップページ  
 QRコード